



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年11月9日

上場会社名 東洋合成工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4970 URL <http://www.toyogosei.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 有仁  
 問合せ先責任者(役職名) 経理財務本部長 (氏名) 多木 宏行 (TEL) 03-5822-6170  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日 配当支払開始予定日 平成30年12月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	11,177	8.8	801	4.5	842	15.6	550	△6.5
30年3月期第2四半期	10,275	18.7	766	591.1	728	—	588	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
31年3月期第2四半期	69.37		—					
30年3月期第2四半期	74.18		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	30,653	8,294	27.1
30年3月期	30,128	7,783	25.8

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 8,294百万円 30年3月期 7,783百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
31年3月期	—	5.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	9.6	1,400	7.6	1,350	23.9	830	△3.8	104.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成30年11月9日)公表いたしました「第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

31年3月期2Q	8,143,390株	30年3月期	8,143,390株
31年3月期2Q	206,148株	30年3月期	206,148株
31年3月期2Q	7,937,242株	30年3月期2Q	7,937,352株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる状況及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### (全般の概況)

当第2四半期の世界経済は、米国では企業収益の改善や好調な雇用環境を背景に回復が続き、欧州でも緩やかな拡大が続きました。さらに、中国では景気は減速傾向であるものの、大幅な成長鈍化は回避される見通しで推移しています。

しかしながら、各国・地域における地政学的リスク、金融資本市場の動向、原油価格の変動に加え、米中貿易摩擦の推移など引き続き注視が必要な状況が続いています。

一方、わが国経済は雇用・所得情勢の改善を受けた個人消費の持ち直しや堅調な企業収益により緩やかな景気拡大が続きました。

このような状況のもと、当社は平成30年8月10日発表の中期経営計画「TGC300」に基づき、お客様との関係強化、積極的な拡販、新製品の開発、コスト削減に取り組み、当第2四半期累計期間の売上高は11,177,245千円(前年同期比+901,431千円、+8.8%)、営業利益は801,541千円(前年同期比+34,726千円、+4.5%)、経常利益は842,120千円(前年同期比+113,461千円、+15.6%)、四半期純利益は550,585千円(前年同期比△38,192千円、△6.5%)となりました。

#### (セグメント別の概況)

##### 【感光性材料事業】

半導体向け感光性材料は、IoTによる電子デバイス使用量の大幅増加、およびデータ通信量増大によるDRAMおよび3次元フラッシュメモリーの需要増、堅調なLCDマーケットにより、旧世代の感光性材料も昨年度に引き続き好調な販売となりました。一方、スマートフォン先端機種種の販売低下により、該当機種搭載の一部感光性材料がやや軟調となったものの、新たに新規EUV世代向け感光性材料の販売が開始され、新製品販売が増加しました。

この結果、同事業の売上高は6,051,463千円(前年同期比+247,935千円、+4.3%)、営業利益は621,574千円(前年同期比△187,510千円)となりました。

##### 【化成品事業】

化成品部門は、IoT化の進む中、需要が旺盛である情報処理向けの半導体メモリー分野や、スマートフォン・EV(電気自動車)向け部材といった成長率の高い領域において、お客様が生産量を伸ばしていることにより、電子材料向け高純度合成溶剤製品の販売が堅調に推移しました。一方、香料分野では海外香料メーカーへの販売は伸び悩んだものの、国内顧客向けのシェア拡大により、全体的には前年並みの販売となりました。

ロジスティック部門は、顧客満足度向上に努めた結果、タンク契約率、回転率共に高水準で推移しております。

この結果、同事業の売上高は5,125,782千円(前年同期比+653,496千円、+14.6%)、営業利益は179,966千円(前年同期比+222,236千円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間における総資産は30,653,480千円となり、前事業年度末比524,700千円の増加となりました。

流動資産は13,218,617千円で、前事業年度末比601,163千円の増加となりました。これは主に現金及び預金449,555千円の減少、受取手形及び売掛金447,561千円の増加および商品及び製品653,774千円の増加によるものであります。

固定資産は17,434,862千円で、前事業年度末比76,463千円の減少となりました。これは主に取得による増加845,671千円および減価償却による減少930,186千円等によるものであります。

流動負債は14,523,474千円で、前事業年度末比1,334,198千円の減少となりました。これは主に短期借入金500,000千円の減少および1年内返済予定の長期借入金74,913千円の減少によるものであります。

固定負債は7,835,466千円で、前事業年度末比1,347,619千円の増加となりました。これは主に長期借入金1,319,871千円の増加によるものであります。

純資産合計は8,294,539千円で、前事業年度末比511,280千円の増加となりました。これは主に四半期純利益

550,585千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表しました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(平成30年11月9日)公表いたしました「第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,525,526	2,075,970
受取手形及び売掛金	3,695,501	4,143,062
商品及び製品	4,478,876	5,132,650
仕掛品	167,361	130,680
原材料及び貯蔵品	1,462,315	1,439,054
その他	291,639	301,380
貸倒引当金	△3,765	△4,181
流動資産合計	12,617,454	13,218,617
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,684,898	7,339,708
機械装置及び運搬具(純額)	2,893,450	3,620,069
土地	4,835,945	4,835,945
その他(純額)	2,170,850	734,956
有形固定資産合計	16,585,145	16,530,679
無形固定資産		
その他	331,042	300,322
無形固定資産合計	331,042	300,322
投資その他の資産		
その他	595,138	603,860
投資その他の資産合計	595,138	603,860
固定資産合計	17,511,325	17,434,862
資産合計	30,128,780	30,653,480
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,872,471	2,816,487
短期借入金	6,700,000	6,200,000
1年内返済予定の長期借入金	3,123,031	3,048,117
未払法人税等	151,337	339,591
賞与引当金	405,535	513,288
その他の引当金	32,054	18,512
その他	2,573,244	1,587,477
流動負債合計	15,857,673	14,523,474
固定負債		
長期借入金	4,637,200	5,957,071
退職給付引当金	1,306,112	1,357,453
役員退職慰労引当金	62,029	67,122
その他	482,505	453,819
固定負債合計	6,487,847	7,835,466
負債合計	22,345,520	22,358,941

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,618,888	1,618,888
資本剰余金	1,541,589	1,541,589
利益剰余金	4,667,264	5,178,163
自己株式	△89,179	△89,179
株主資本合計	7,738,562	8,249,462
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	44,696	50,809
繰延ヘッジ損益	—	△5,732
評価・換算差額等合計	44,696	45,077
純資産合計	7,783,259	8,294,539
負債純資産合計	30,128,780	30,653,480

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	10,275,813	11,177,245
売上原価	8,085,384	8,866,509
売上総利益	2,190,429	2,310,735
販売費及び一般管理費	1,423,614	1,509,194
営業利益	766,814	801,541
営業外収益		
受取利息	413	607
受取配当金	4,254	3,755
為替差益	14,452	71,784
受取家賃	9,249	11,469
その他	11,968	19,590
営業外収益合計	40,338	107,207
営業外費用		
支払利息	73,532	56,458
その他	4,960	10,169
営業外費用合計	78,493	66,627
経常利益	728,659	842,120
特別利益		
固定資産売却益	153,814	—
投資有価証券売却益	—	21,673
特別利益合計	153,814	21,673
特別損失		
固定資産除却損	7,793	21,328
特別損失合計	7,793	21,328
税引前四半期純利益	874,680	842,465
法人税、住民税及び事業税	119,733	314,216
法人税等調整額	166,168	△22,337
法人税等合計	285,901	291,879
四半期純利益	588,778	550,585



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	874,680	842,465
減価償却費	834,778	930,186
引当金の増減額(△は減少)	△405,030	151,061
受取利息及び受取配当金	△4,667	△4,362
支払利息	73,532	56,458
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△21,673
固定資産除却損	7,793	21,328
有形固定資産売却損益(△は益)	△153,814	—
売上債権の増減額(△は増加)	△518,254	△447,561
たな卸資産の増減額(△は増加)	80,667	△593,832
仕入債務の増減額(△は減少)	137,919	△55,983
未払又は未収消費税等の増減額	61,729	17,520
その他	154,725	△32,541
小計	1,144,060	863,065
利息及び配当金の受取額	4,673	4,362
利息の支払額	△64,996	△57,619
補助金の受取額	529	—
法人税等の支払額	△56,620	△153,357
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,027,646	656,450
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△512,912	△1,784,732
有形固定資産の除却による支出	—	△375
無形固定資産の取得による支出	△7,642	△8,176
投資有価証券の取得による支出	△364	△375
投資有価証券の売却による収入	—	43,824
投資活動によるキャッシュ・フロー	△520,920	△1,749,835
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	408,000	△500,000
長期借入れによる収入	1,200,000	2,934,000
長期借入金の返済による支出	△1,603,178	△1,689,042
リース債務の返済による支出	△77,223	△89,447
配当金の支払額	△39,545	△39,561
財務活動によるキャッシュ・フロー	△111,948	615,948
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,693	27,880
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	391,084	△449,555
現金及び現金同等物の期首残高	1,453,819	2,113,526
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,844,904	1,663,970

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,803,528	4,472,285	10,275,813	-	10,275,813
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	122,009	122,009	△122,009	-
計	5,803,528	4,594,295	10,397,823	△122,009	10,275,813
セグメント利益又は損失(△)	809,084	△42,270	766,814	-	766,814

(注) セグメント利益又は損失は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,051,463	5,125,782	11,177,245	-	11,177,245
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	133,179	133,179	△133,179	-
計	6,051,463	5,258,961	11,310,425	△133,179	11,177,245
セグメント利益	621,574	179,966	801,541	-	801,541

(注) セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。